

参議院議員選挙公約に向けての対応(案)

1 各党における参議院議員選挙公約の検討体制と状況

(1) 民主党

① 検討体制

政権公約会議

議長＝鳩山由紀夫内閣総理大臣・民主党代表

構成員＝菅直人副総理、仙石由人国家戦略相、平野博文官房長官

小沢一郎幹事長、輿石東参院会長、山岡賢次国対委員長、

高嶋良充筆頭副幹事長（参院幹事長）

マニフェスト企画委員会

3/19初会合、5/10案出し、5/末まとめ

政府代表＝仙谷由人国家戦略相、党代表＝高嶋良充筆頭副幹事長

逢坂誠二首相補佐官

○国民生活研究会（会長：中野寛成代議士）

○成長・地域戦略研究会（会長：大畠章宏代議士）

○地域主権・規制改革研究会（会長：玄葉光一郎代議士）

② 関係者の主な発言

仙石国家戦略相

- ・この半年のことを総括しながらというか、経験を踏まえながら、マニフェストの性格について、特に参議院選挙ですから、そのことも踏まえて考えながら、議論してつくっていききたい（3月12日会見）

高嶋筆頭副幹事長

- ・野党時代に作ったマニフェストを与党として検証し、それを実行していくためにどのような道筋をつけていくのかということが私どもの最大の使命（3月19日会合挨拶）

③ スケジュール

5月10日ごろ 3研究会などから企画委員会に対して案を提出

マニフェスト企画委員会で調整

5月末

政権公約会議で決定

(2)自由民主党

①検討体制

政権政策委員会（議長：石破茂政調会長）

- 「くらし」（田村憲久副会長）
- 「地域」（金子恭之副会長）
- 「成長」（山本幸三副会長）
- 「政治主導」（高市早苗副会長）
- 「この国のあり方」（岩屋毅副会長）

②関係者の主な発言

石破政調会長

- ・参議院選挙は政権選択ではございませんので、マニフェストを総選挙と同じ形で作ることは考えておりません。（2月10日記者会見）
- ・連休明けが期限（3月10日記者会見）

③スケジュール

5月連休明け 政権政策委員会でのとりまとめ

(注) 参議院議員選挙公約の検討体制を、報道・党公表資料等で確認できたのは、二党だが、他党においても、政調などを中心に検討が進むものと想定

2 今後の対応

- (1) 衆議院議員総選挙と、参議院議員選挙の「選挙」及び「公約」の位置づけの違いを踏まえる
- (2) 各政党における検討体制・検討状況の違いに留意する
与党側に対しては、政府が作成する地域主権戦略大綱に全国知事会の意見を反映させることを通じて、参議院選挙公約に意見を反映させることも必要。
- (3) 流動的な政治状況に的確に対応する
- (4) 以上3点をふまえ、会長及び委員長の判断により適切に対応する